

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.14
2011.4.20

◆対策本部会議

岩手県共同対策本部では、4月11日と18日に会議を行い、情報の共有をしながら被災地支援にあたっています。11日には会議の前に盛岡市大通に出て募金活動をしました。会議の中では震災1ヶ月ということと黙祷を行いました。



盛岡市大通りで募金活動

18日の第7回会議では大船渡のボランティアセンターの状況などが報告されました。いよいよ「あづま荘」だけでは入りきれなくなり、とりあえず「遊・YOU・亭 夏虫」に10人分の宿舎を確保しました。同時に移動手段が必要なことから、マイクロバスも1台リースしました。

新婦人からは陸前高田市に100万円を届けたことが報告され、原水協からも被災6自治体を訪問し救援募金を届けたことが報告されました。また、民青同盟からは全国的に何かしたいという声があがっている、一関にセンターを設けたいとの話がありました。会議では連休中は大勢のボランティアが来ることが予想されるが、一時的なボランティアだけでなく長いスパンでのボランティアが必要だと話し合われました。

消団連・いわて生協、母親連絡会からは、継続的に陸前高田市広田地区で炊き出しを行う計画が話され、消団連・いわて生協、母親連絡会、農民

連のところで進めていくことにしました。早速そのための寸胴を花巻の中古品店で新品の半額で調達しました。



炊き出しのために調達した寸胴

また、コープトラベルが参加し、大槌へのボランティアのベースとしてタイマグラの民宿はどうかと提案されました。

紫波の物資センターからは20日に4tトラックで配送を行い、以後は現地に直接に配送する方式になることが報告されました。

◆自治労連支援センター開設へ

自治労連では多大な被害を受けた陸前高田市を支援するために、矢作にある鈴木旅館を拠点とすることにしました。開設に向け看板も立ちました。



陸前高田にも拠点が

◆盛岡労連宮古でボランティア

4月16日、盛岡労連では6人が宮古にボランティアで入りました。磯鶏にある「日昇館」という旅館で清掃の作業を行いました。泥の付いたお酒のビンもきれいに洗いました。



日昇館でボランティア

◆子ども達にお人形を

陸前高田市の高田保育所が開所することをテレビで見た山梨県の方が新婦人の会員さんに声をかけて、新婦人河口湖町支部から保育園に送ってと手作りの人形が二箱届けられました。



子ども達へお人形が届けられる

◆復興励ます歌作曲

ボランティアから帰ってきたいわて労連の高屋氏が復興を励ます歌「負けない みんなで 一歩ずつ」を作りました。

大船渡のボランティアセンターのある三陸町越喜来崎浜の防潮堤には写真のような看板が掲げられていました。これは地区の子ども達が作ったと

の事です。とりあえずギターで演奏されたCDも作ってありますので、ほしい方はご連絡ください。



崎浜に掲げられた看板

負けない みんなで 一歩ずつ
作詞・曲 高屋修

Moderato (♩=80)

G Em Am7 D7

ていぼうにりかいたこーとば"いっぼずつまえへさきはま"たと
(か) かったさくらのつぼみもいちりんのはなをつーけたつな

Am7 Bm7 Em Cdim V G Am7 D7

えがっこうはうつつもふるさとのまはもともどるよう
みえうけてもまけないではるがくるのーを おしえるーよう

G D7 G Bm Em

にに たいせつなふるさとをま

Am7 D7 C D Bm Em

たとりもどすためにまけない みんなでいっぼずつ この
ひと

C Am7 Cm D7 G Fine 1.Am7 D7 2.D7 D.S.

もたちにみらいをのこせるように かた た
まのれきしをのこせるように
のいきたあかしのこせるように

ボランティアの活動拠点のある大船渡市三陸町越喜来崎浜地区にこの看板がありました。耐震上問題のある学校のため他の学校に移ることになりましたが、子どもたちは並って元気で校庭で遊び、作業終了後にはボランティアメンバーと一緒にサッカーをしたりしていました。震災を受けた大船渡市役所三陸支所の片付けをしましたが、ボランティアの最後の日にはやと様くなり、津波をかかった森の木に輪の花が咲いていました。支所からは明治からの文書や絵図など歴史的に大切な資料も運び出しました。

津波はこの防潮堤を乗り越えてきました

PARC TIME